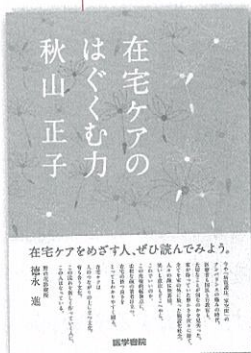




災害と子どものこころ

編著 清水将之
著 柳田邦男/井出 浩/田中 究
定価 756円(本体720円+税5%)
集英社

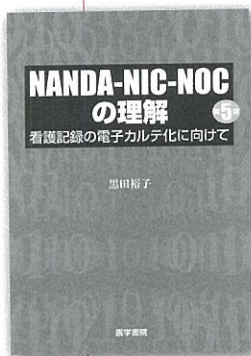
「子どもは、災害時には『弱者』である。この本は、災害時に、子どものこころを支えるために、周りのおとなは何を考へよう行動すべきか、何ができるかについて、児童精神科医が中心となって編纂した書物である」(「はじめに」より)。メンタルヘルス支援の現状と今後取り組むべき対策を提示した。



在宅ケアのはぐくむ力

著 秋山正子
定価 1470円(本体1400円+税5%)
医学書院

2012年に地域包括ケアシステムの新時代を迎えたこの国で暮らし、死にゆくことをサポートする看護専門職のガイドブック。地域を、患者を、そしてケアの仲間たちとはぐくみ合える不思議な力が在宅療養の現場にはある。著者が立ち上げた「暮らしの保健室」の歩みも紹介。

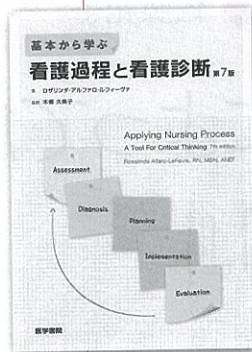


NANDA-NIC-NOCの理解

看護記録の電子カルテ化に向けて (第5版)

著 黒田裕子
定価 2520円(本体2400円+税5%)
医学書院

NANDA-NIC-NOCを院内の電子カルテシステムに導入する際の基本的事項を網羅。電子カルテでNANDA-I看護診断を使っている病院、これから院内システムを整備しようとしている施設のスタッフ必読の書。NANDA-NIC-NOCを臨床的に理解するうえでも有用なレファレンス。



基本から学ぶ 看護過程と看護診断

第7版

著 ロザリンダ・アルファロールフィーヴァ
監訳 本郷久美子
定価 2730円(本体2600円+税5%)
医学書院

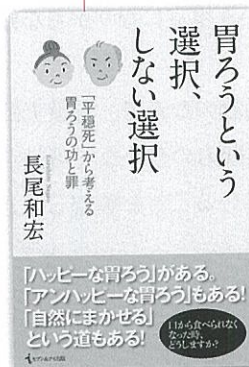
看護過程を段階ごとにわかりやすく説明し、アセスメントをもとに看護師が対処すべき問題を明確化する過程を詳しく解説。クリティカルシンキングを重視、看護過程に必要な思考や発想のヒントが数多く盛り込まれている。「考える看護過程」を身につけるのに最適。



APAに学ぶ 看護系論文執筆のルール

著 前田樹海/江藤裕之
定価 1890円(本体1800円+税5%)
医学書院

これまで明文化されることが少なかった、論文を書く者の心構え、投稿のルール、論文の種類と構成、引用の仕方、文献リストの作り方といった論文執筆から発表までの「お作法」を「基本」「原則」「例外」「提言」の形式に整理して提示。看護学生や臨床看護師に。



胃ろうという選択、 しない選択

「平穏死」から考える
胃ろうの功と罪

著 長尾和宏
定価 1575円(本体1500円+税5%)
セブン&アイ出版

胃ろうは「過剰な延命措置か?」。胃ろうに懐疑的な報道が多くなってきたが、依然として多くの患者に胃ろうが造設されている。必ずしも良い、悪いと断じるのではなく、「ハッピーな胃ろう」「アンハッピーな胃ろう」「自然にまかせる」それぞれの道を開業医の立場から示した。